国際標準規格

業界初のトリプル認証

さいたまの森田歯科医院

認証書を手にする森田院長とスタッフ

さいたま市大宮区寿能町の森田歯科医院（森田武院長）はこのほど、国際標準規格のISO9001、ISO14001、OHSAS18001の各認証をトリプルで取得。OHSAS18001は医療業界で初の取得とされ、トリプル取得も業界初の快挙という。

二〇〇一年二月、大学病院の勤務医（口腔外科専攻）だった森田院長（三七）が、「妻の実家がある大宮」で開業した。

勤務医当時から、医療過誤、院内感染など医療業界が常に直面する課題に関心を持っていたという森田院長。「この業界にいると、清潔、不潔の概念があいまいになる傾向がある」といい、開業後も「患者、治療側双方が直面するリスクをいかに低減させるかに気を配ってきた」という。

院内での日々の取り組みをマニュアル化し、リスク低減の意識をより高めようと、ISO、OHSASの取得に挑戦。院内スタッフは森田院長のほか、非常勤医や歯科衛生士など約十人。全員の協力態勢で取得の準備期間は約三カ月で済ませた。

「人件費、器具類などコスト高は否めないが、長期的視点に立って取得に挑戦した。取得後も常にリスク低減の意識化は必要」と話す。

【国際標準化規格と森田歯科医院の取り組み】

ISO9001＝品質、顧客サービス分野にかかわる基準。患者の満足度をテーマにした企画、医療の質、安心度などをチェック▽ISO14001＝地球環境へのリスク低減にかかわる基準。資源の有効活用と医療廃棄物などの適切な管理により環境負荷を低減させる取り組み▽OHSAS18001＝労働安全衛生にかかわる基準。院内での感染リスクの低減、安全性を高める取り組み